

放射性廃棄物 処理・処分にに関する研究

放射性廃棄物の処理・処分をセメント系材料を用いて実施した場合の各種調査・試験・評価等の受託研究を通じて、より安全な処分を可能としています。さらに原子力発電所の解体に伴い発生する大量のコンクリートの有効利用に関しても取り組んでいます。

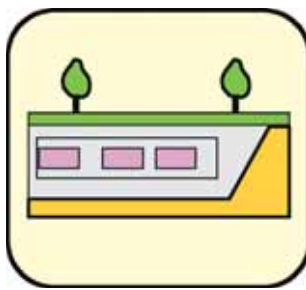
原子力関連

● 発生場所(処理)



原子力発電所

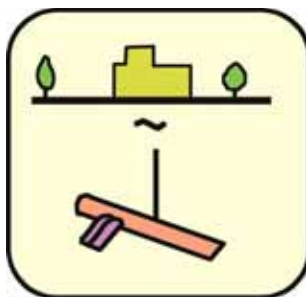
● 廃棄物の処分



低レベル：3m以上の覆土
余裕深度：地下50～100m



再処理工場



地層処分
(高レベルとTRUの一部)：
地下300mより深い地層

当社の評価研究

- 処分概念の検討研究 (セメント化学関連)
- 廃棄物の処理研究 (セメント系材料)
- 解体コンクリートのリサイクルに関する研究 (コンクリート関連)

放射性廃棄物処理・処分にに関する研究

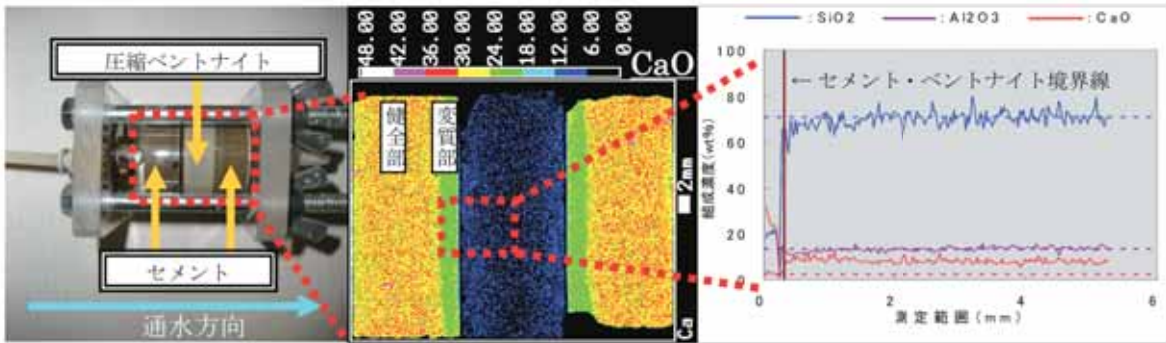
お問い合わせ先


Taiheiyo Consultant
 株式会社 太平洋コンサルタント

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-27-8
 アサノ東日本橋ビル1階
 TEL 03(5820)5605 / FAX 03(5820)5608
<http://www.taiheiyo-c.co.jp>

処理概念の検討研究

放射性廃棄物を固定化し、漏洩を抑制するバリアとしての性能が期待されるセメント系材料のベントナイトとの長期にわたる相互作用に関する研究です。廃棄物処分のセメント系材料の長期にわたる安全性を評価する技術を提案いたします。



廃棄物の処理研究

模擬廃棄物を利用し、放射性廃棄物のセメント固化に関する研究を行っています。発電所や再処理工程で発生する各種塩類・廃液・焼却灰・廃樹脂などの固化条件の最適化、重金属などの微量成分の影響、好適な固化材の選定、廃棄物充填量と固化体特性の関係の把握、などをピーカースケールからドラム缶サイズで検討します。



解体コンクリートのリサイクルに関する調査研究

原子力施設の廃炉、その他施設の解体等で大量に発生する解体コンクリートより再生骨材を回収し、繰り返しコンクリート用骨材として循環利用する方法をご提案します。再生骨材の試製およびキャラクタリゼーション、再生コンクリートの調合設計、副産微粉の利用検討など、コンクリートリサイクル事業のコンサルティングが当社の仕事です。

